

令和9年度介護報酬改定に資する実態調査

調査項目

【メッセージ】

訪問看護は、社会に求められる資源として、質・量ともに拡充する一方、多様化する地域のニーズに対応するため、変化を遂げています。そのような中、現場の方々の貴重な実践の声をもとに、国民に必要とされる訪問看護提供を適正に評価いただくため、全国訪問看護事業協会と日本訪問看護財団が協同して、令和9年度介護報酬改定の要望書を作成するために、訪問看護事業所の実態と訪問看護のエビデンスを明らかにしたいと思っております。そのための実態調査にご協力をお願い致します。

【倫理的配慮】

※本調査でご回答いただいた情報については集計結果をとりまとめ公表いたしますが、とりまとめ及び公表に際しては、統計的に処理し事業所名が特定されることはありません。また、回答データを集約・分析のために外部機関に委託させていただくことがあります。その際、情報管理が適切に取り扱われるよう配慮いたします。また、ご回答いただけなかった場合でも何ら不利益を被るものではございません。尚、回答後は、取り下げのご希望に応じることはできませんのでご了承ください。

対象期間は、問いによって異なりますので指示に従ってご回答ください。

介護報酬改定要望の資料とするため、特に指定のない限り介護保険の利用者についてお答えください。

また、介護報酬の算定を行っていない事業所の方であっても、ご回答をお願いいたします。

【事業所の概要】(令和8年2月末時点)

- 1) 事業所の所在地を教えてください。
- 2) ステーション名を教えてください。
()
- 3) 法人種別を教えてください。
 - a. 医療法人
 - b. 営利法人(株式会社・有限会社・合名会社・合資会社)
 - c. 社会福祉法人・社会福祉協議会
 - d. 社団・財団法人
 - e. 医師会
 - f. 看護協会
 - g. その他: _____
- 4) 貴法人が有する施設・事業所(複数ある場合は該当するものをすべて選択)をおしえてください。
 - a. 病院・診療所
 - b. 訪問看護ステーション
 - c. 居宅介護支援事業所
 - d. 訪問介護事業所
 - e. 通所介護事業所・療養通所介護事業所
 - f. 地域包括支援センター
 - g. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
 - h. 小規模多機能型居宅介護
 - i. 看護小規模多機能型居宅介護
 - j. サービス付き高齢者住宅
 - k. 認知症対応型共同生活介護
 - l. 介護医療院

- m. 障害福祉サービス事業所(就労系サービス) 系サービス)
- n. 障害福祉サービス事業所(施設・居住系サービス)
- o. 障害福祉サービス事業所(相談系サービス)
- p. その他: _____

【職員の状況】(令和8年2月末時点)

- 5) 看護職員(看護師、保健師、助産師、准看護師)の実人を教えてください。いない場合は「0」を記載してください。
- 6) 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の合計実人数を教えてください。いない場合は「0」を記載してください。
- 7) 事務職員の実人数を教えてください。いない場合は「0」を記載してください。
- 8) その他の職員の実人数を教えてください。いない場合は「0」を記載してください。

【加算の届出状況】(令和8年2月末時点)

- 9) 加算の届出状況を教えてください。【複数回答】
- a. 緊急時訪問看護加算 I
- b. 緊急時訪問看護加算 II
- c. 特別管理加算
- d. 看護体制強化加算 I
- e. 看護体制強化加算 II
- f. 口腔連携強化加算
- g. サービス提供体制強化加算 I
- h. サービス提供体制強化加算 II
- i. 専門管理加算
- j. ターミナルケア加算
- k. いずれも算定していない

【利用者情報】(令和8年2月 1箇月間)

- 10) 全体の利用者数(実人数)を教えてください。いない場合は「0」と記載してください。
- 11) 全体の利用者の中、介護保険(予防も含む)の利用者数(実人数)を教えてください。いない場合は「0」と記載してください。
- 12) 全体の利用者の中、医療保険の利用者数(実人数)を教えてください。いない場合は「0」と記載してください。

【厚生労働大臣が定める状態(特別管理加算)の対象に『在宅難治性皮膚疾患処置指導管理料』を追加について】(令和7年12月～令和8年2月の3箇月間)

- 13) 介護保険の利用者で、主傷病名が表皮水疱症患者又は水疱型先天性魚鱗癬様紅皮症の利用者数を教えてください。(令和7年12月～令和8年2月の3箇月間)
- : _____ (人)
- 14) そのうち、処置・指導のために訪問した延べ回数を教えてください。ない場合は「0」を記載して下さい。(令和7年12月～令和8年2月の3箇月間)

: _____ (回)

【夜間等における『緊急時訪問看護加算』の算定要件の見直し】(令和7年12月～令和8年2月の3箇月間)

- 15) 介護保険の『緊急時訪問看護加算』を算定した利用者数を教えてください。
: _____ (人)
- 16) 介護保険の『緊急時訪問看護加算』を算定した利用者で緊急訪問した利用者数を教えてください(0～24時の全ての時間帯)
: _____ (人)
- 17) 介護保険の『緊急時訪問看護加算』を算定した利用者で緊急訪問した件数を教えてください。ない場合は「0」と記載してください。
(0～24時の全ての時間帯)
: _____ (回)
- 18) 夜間(午後6時から午後10時まで)の訪問看護件数を教えてください。
: _____ (件)
- 19) 夜間に訪問看護をした利用者の内、緊急訪問が初回であり加算が算定できなかった件数を教えてください。
: _____ (件)
- 20) 早朝(午前6時から午前8時まで)の件数を教えてください。
: _____ (件)
- 21) 早朝に訪問看護をした利用者の内、緊急訪問が初回であり加算が算定できなかった件数を教えてください。
: _____ (件)
- 22) 深夜(午後10時から6時まで)の訪問看護の数を教えてください。
: _____ (件)
- 23) 深夜に訪問看護をした利用者の内、緊急訪問が初回であり加算が算定できなかった件数を教えてください。
: _____ (件)
- 24) 独居高齢者(65歳以上)への夜間・深夜・早朝における緊急訪問の件数を教えてください。ない場合は「0」と記載してください。
: _____ (件)
- 25) 介護保険の『緊急時訪問看護加算』を算定した利用者のうち、**直近で緊急訪問し、夜間・早朝・深夜の加算を算定できなかった利用者**の状態像を教えてください。
a 特別管理の状態:気管カニューレまたは留置カテーテルを使用している状態
b 上記以外の特別管理を算定する状態
c その他
- 26) 介護保険の『緊急時訪問看護加算』を算定した利用者のうち、**直近で緊急訪問し、夜間・早朝・深夜の加算を算定できなかった利用者**に実施している医療処置を全て選択してください。【複数回答】
a 胃ろう・腸ろうによる栄養管理

- b 経鼻経管栄養の管理
- c 中心静脈栄養の管理
- d 輸液ポンプの管理
- e カテーテルの管理
- f ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理
- g 口鼻腔吸引
- h 気管内吸引
- i 吸入
- j 酸素療法(酸素吸入)
- k 気管切開の管理
- l 人工呼吸器(持続陽圧呼吸療法含む)の管理
- m 静脈内注射(末梢静脈点滴含む)
- n 皮内、皮下及び筋肉内注射(皮下点滴を含む。インスリン注射を除く)
- o 簡易血糖測定
- p インスリン注射
- q 疼痛管理(麻薬なし)
- r 疼痛管理(麻薬使用)
- s 創傷処置
- t 褥瘡処置
- u 皮膚トラブルに対する軟膏処置等
- v 浣腸・摘便
- w 導尿
- x その他()
- y 該当なし

27) 介護保険の『緊急時訪問看護加算』を算定した利用者のうち、直近で緊急訪問し、夜間・早朝・深夜の加算を算定できなかった利用者に行ったケアを全て選択してください【複数回答】

- a 服薬指導・服薬管理
- b 排泄の援助
- c 口腔ケア
- d 清潔ケア(更衣含む)
- e 体位変換
- f 移動・移乗の介助
- g 呼吸ケア
- h 介護力がないため(排痰ケアやおむつ交換)
- i 心身の状況の評価と利用者・家族への説明
- j 精神的ケア
- k 利用者・家族等への医療処置の指導
- l 利用者・家族等への異常出現時の対応に関する指導

- m 在宅看取りへ向けた利用者・家族との調整
 - n ターミナルケア(緊急時対応など関係者との調整や意思決定支援も含む)
 - o 睡眠のためのケア
 - p 療養のための環境整備・介護指導(衛生材料等の確認を含む)
 - q 担当者会議
 - r 重要事項の説明や契約に係ること
 - s その他
- 28) 医療保険の『24時間対応体制加算』を算定した利用者数を教えてください。(令和7年12月～令和8年2月の3箇月間)
- : _____ (人)
- 29) 医療保険の『24時間対応体制加算』を算定した利用者数のうち、直近で緊急訪問した利用者の状態像を教えてください。
- a 特別管理の状態:気管カニューレまたは留置カテーテルを使用している状態
 - b 上記以外の特別管理を算定する状態
 - c 該当なし
- 30) 医療保険の『24時間対応体制加算』を算定した利用者数のうち、直近で緊急訪問した利用者に行った医療処置を全て選択してください【複数回答】
- a 胃ろう・腸ろうによる栄養管理
 - b 経鼻経管栄養の管理
 - c 中心静脈栄養の管理
 - d 輸液ポンプの管理
 - e カテーテルの管理
 - f ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理
 - g 口鼻腔吸引
 - h 気管内吸引
 - i 吸入
 - j 酸素療法(酸素吸入)
 - k 気管切開の管理
 - l 人工呼吸器(持続陽圧呼吸療法含む)の管理
 - m 静脈内注射(末梢静脈点滴含む)
 - n 皮内、皮下及び筋肉内注射(皮下点滴を含む。インスリン注射を除く)
 - o 簡易血糖測定
 - p インスリン注射
 - q 疼痛管理(麻薬なし)
 - r 疼痛管理(麻薬使用)
 - s 創傷処置
 - t 褥瘡処置
 - u 皮膚トラブルに対する軟膏処置等
 - v 浣腸・摘便
 - w 導尿
 - x その他()
 - y 該当なし
- 31) 医療保険の『24時間対応体制加算』を算定した資料者のうち、直近で緊急訪問した利用者に行

ったケア内容を全て選択してください【複数回答】

- a 服薬指導・服薬管理
- b 排泄の援助
- c 口腔ケア
- d 清潔ケア(更衣含む)
- e 体位変換
- f 移動・移乗の介助
- g 呼吸ケア
- h 介護力がないため(排痰ケアやおむつ交換)
- i 心身の状況の評価と利用者・家族への説明
- j 精神的ケア
- k 利用者・家族等への医療処置の指導
- l 利用者・家族等への異常出現時の対応に関する指導
- m 在宅看取りへ向けた利用者・家族との調整
- n ターミナルケア(緊急時対応など関係者との調整や意思決定支援も含む)
- o 睡眠のためのケア
- p 療養のための環境整備・介護指導(衛生材料等の確認を含む)
- q 担当者会議
- r 重要事項の説明や契約に係ること
- s その他

【退院時共同指導加算について】(令和7年12月～令和8年2月の3箇月間)

- 32) 退院時共同指導(加算算定の有無に関わらず)を行った件数を教えてください。
※退院指導とは、カンファレンスの参加、情報提供を受ける、入院患者の退院促進に向けた相談・助言を行った等を文書で提供した場合を指します
: _____ (件)
- 33) 介護保険の『退院時共同指導加算』を算定した利用者数を教えてください。いない場合は「0」と記載してください。
_____ (人)
- 34) 介護保険利用者が退院時共同指導加算を算定できなかった利用者数を教えてください。
_____ (人)
- 35) その理由を教えてください。
a. 初回訪問の前に死亡した
b. 転院したため
c. その他:(_____)
- 36) 初回訪問の前に死亡した方の人数を教えてください。
_____ (人)
- 37) 初回訪問の前に死亡した利用者のうち、直近の利用者の年齢を選択してください。
a. 65歳以上～74歳以下

- b. 75歳以上～84歳以下
- c. 85歳以上
- d. 該当なし

38) 転院した方の人数を教えてください。
 _____(人)

39) その他の方の人数を教えてください。
 _____(人)

40) 介護保険の『退院時共同指導加算』を算定した利用者の内、直近の加算算定者の利用者像(特別管理の状態)を教えてください。

- a 特別管理の状態:気管カニューレまたは留置カテーテルを使用している状態
- b 上記以外の特別管理を算定する状態
- c 該当なし

41) 介護保険の『退院時共同指導』を算定した利用者の内、直近の加算算定者に行った医療処置を全て選択してください【複数回答】

- a 胃ろう・腸ろうによる栄養管理
- b 経鼻経管栄養の管理
- c 中心静脈栄養の管理
- d 輸液ポンプの管理
- e カテーテルの管理
- f ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理
- g 口鼻腔吸引
- h 気管内吸引
- i 吸入
- j 酸素療法(酸素吸入)
- k 気管切開の管理
- l 人工呼吸器(持続陽圧呼吸療法含む)の管理
- m 静脈内注射(末梢静脈点滴含む)
- n 皮内、皮下及び筋肉内注射(皮下点滴を含む。インスリン注射を除く)
- o 簡易血糖測定
- p インスリン注射
- q 疼痛管理(麻薬なし)
- r 疼痛管理(麻薬使用)
- s 創傷処置
- t 褥瘡処置
- u 皮膚トラブルに対する軟膏処置等
- v 浣腸・摘便
- w 導尿
- x その他()
- y 該当なし

42) 介護保険の『退院時共同指導』を算定した利用者の内、直近の加算算定者に行ったケア内容を全て選択してください【複数回答】

- a 服薬指導・服薬管理

- b 排泄の援助
 - c 口腔ケア
 - d 清潔ケア(更衣含む)
 - e 体位変換
 - f 移動・移乗の介助
 - g 呼吸ケア
 - h 介護力がないため(排痰ケアやおむつ交換)
 - i 心身の状況の評価と利用者・家族への説明
 - j 精神的ケア
 - k 利用者・家族等への医療処置の指導
 - l 利用者・家族等への異常出現時の対応に関する指導
 - m 在宅看取りへ向けた利用者・家族との調整
 - n ターミナルケア(緊急時対応など関係者との調整や意思決定支援も含む)
 - o 睡眠のためのケア
 - p 療養のための環境整備・介護指導(衛生材料等の確認を含む)
 - q 担当国会議
 - r 重要事項の説明や契約に係ること
 - s その他
- 43) 退院時共同指導を実施した利用者のうち、医療保険の『退院時共同指導加算』を算定した利用者数を教えてください。
- (令和7年12月～令和8年2月の3箇月間)
- : _____ (人)
- 44) 医療保険の『退院時共同指導加算』を算定した利用者の内、**直近の加算算定者の利用者像**(特別管理の状態)を教えてください。
- a 特別管理の状態:気管カニューレまたは留置カテーテルを使用している状態
 - b 上記以外の特別管理を算定する状態
 - c 該当なし
- 45) 医療保険の『退院時共同指導』を算定した利用者のうち、**直近の加算算定者の利用者**に行った医療処置を全て選択してください【複数回答】
- a 胃ろう・腸ろうによる栄養管理
 - b 経鼻経管栄養の管理
 - c 中心静脈栄養の管理
 - d 輸液ポンプの管理
 - e カテーテルの管理
 - f ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理
 - g 口鼻腔吸引
 - h 気管内吸引
 - i 吸入

- j 酸素療法(酸素吸入)
- k 気管切開の管理
- l 人工呼吸器(持続陽圧呼吸療法含む)の管理
- m 静脈内注射(末梢静脈点滴含む)
- n 皮内、皮下及び筋肉内注射(皮下点滴を含む。インスリン注射を除く)
- o 簡易血糖測定
- p インスリン注射
- q 疼痛管理(麻薬なし)
- r 疼痛管理(麻薬使用)
- s 創傷処置
- t 褥瘡処置
- u 皮膚トラブルに対する軟膏処置等
- v 浣腸・摘便
- w 導尿
- x その他()
- y 該当なし

46) 医療保険の『退院時共同指導』を算定した利用者のうち、直近の加算算定者の利用者に行ったケア内容を全て選択してください【複数回答】

- a 服薬指導・服薬管理
- b 排泄の援助
- c 口腔ケア
- d 清潔ケア(更衣含む)
- e 体位変換
- f 移動・移乗の介助
- g 呼吸ケア
- h 介護力がないため(排痰ケアやおむつ交換)
- i 心身の状況の評価と利用者・家族への説明
- j 精神的ケア
- k 利用者・家族等への医療処置の指導
- l 利用者・家族等への異常出現時の対応に関する指導
- m 在宅看取りへ向けた利用者・家族との調整
- n ターミナルケア(緊急時対応など関係者との調整や意思決定支援も含む)
- o 睡眠のためのケア
- p 療養のための環境整備・介護指導(衛生材料等の確認を含む)
- q 担当者会議
- r 重要事項の説明や契約に係ること
- s その他

- 47) 退院時共同指導1件あたりに要した大体の平均時間(分)を教えてください。
: _____ (分)

【入院・入所時の情報連携に係る評価】(令和7年12月～令和8年2月の3箇月間)

- 48) 病院や施設の入院・入所時にサマリー等文書で情報提供した令和7年12月の利用者数を教えてください。
_____人
- 49) 病院や施設の入院・入所時にサマリー等文書で情報提供した令和8年1月の利用者数を教えてください。
_____人
- 50) 病院や施設の入院・入所時にサマリー等文書で情報提供した令和8年2月の利用者数を教えてください。
_____人
- 51) 情報提供の依頼元等で最も多い場合を教えてください。
a. ケアマネジャー
b. 入院予定の病院等
c. 入所予定の施設等
d. 利用者・家族
e. 依頼はなかったがステーションの考えで提供した
- 52) サマリー等文書での情報提供によって得られた効果のうち、最もあてはまるものを教えてください。
a. 本人・家族が、病院・施設での情報が伝わっていることで安心する
b. 本人・家族の希望や思いが病院・施設での医療や介護に反映されやすくなる
c. 病院・施設での対応がスムーズになる
d. 病院・施設において、個別性を踏まえた医療・介護が提供されやすくなる
e. 電話等での情報提供に比べ、訪問看護事業所の状況説明の手間や時間が短縮できる
f. 在宅移行時に、病院・施設等から訪問看護事業所に情報提供されるようになる
g. その他()
- 53) 退院時共同指導以外で、利用者の状態の急変や治療方針の変更等に伴い、カンファレンスへの参加が必要だった令和7年12月の利用者数を教えてください。
※ここでいうカンファレンスは、利用者宅で行われ、貴事業所以外の事業所が参加したものを指します(サービス担当者会議も除きます)。
_____ (人)
- 54) 退院時共同指導以外で、利用者の状態の急変や治療方針の変更等に伴い、カンファレンスへの参加が必要だった令和8年1月の利用者数を教えてください。
※ここでいうカンファレンスは、利用者宅で行われ、貴事業所以外の事業所が参加したものを指します(サービス担当者会議も除きます)。
_____ (人)
- 55) 退院時共同指導以外で、利用者の状態の急変や治療方針の変更等に伴い、カンファレンスへの参加が必要だった令和8年2月の利用者数を教えてください。

※ここでいうカンファレンスは、利用者宅で行われ、貴事業所以外の事業所が参加したものを指します(サービス担当者会議も除きます)。

_____ (人)

- 56) 直近の退院時共同指導以外(予定された訪問看護提供の時間帯に実施したのも除く)でカンファレンスに参加した際に出席していた職種等を教えてください(複数回答)。
- a. 利用者
 - b. 家族
 - c. 医師
 - d. 薬剤師
 - e. ケアマネジャー
 - f. 介護職員
 - g. リハビリ職
 - h. その他()
- 57) Q56のカンファレンスで検討した内容について、当てはまるもの全て選んでください(複数回答)
- a. 急な状態の変化に伴う診療方針の検討
 - b. 急な状態の変化に伴う介護・ケア方針の検討
 - c. 終末期の状態であり看取りに向けた現状の説明や対応方針の検討
 - d. 終末期の状態であり利用者・家族等の意向の確認
 - e. 必要な医療処置とその後の注意点の共有
 - f. 利用者・家族の個別性や希望等に応じたケア方法・サービス提供の検討
 - g. その他()
- 58) Q57のカンファレンスで検討・決定した内容に関連して、その後訪問看護において実施した療養指導の内容として、当てはまるもの全て選んでください(複数回答)。
- a. 服薬指導・服薬管理
 - b. 排泄の援助
 - c. 口腔ケア
 - d. 清潔ケア(更衣含む)
 - e. 体位変換
 - f. 移動・移乗の介助
 - g. 呼吸ケア
 - h. 介護指導(おむつ交換・衛生材料等の確認を含む)
 - i. 心身の状況の評価と利用者・家族への説明
 - j. 精神的ケア
 - k. 利用者・家族等への医療処置の指導
 - l. 利用者・家族等への異常出現時の対応に関する指導
 - m. 在宅看取りへ向けた利用者・家族との調整
 - n. ターミナルケア(緊急時対応など関係者との調整や意思決定支援も含む)

- o 睡眠のためのケア
- p 療養のための環境整備
- q その他()

【認知症対応型共同生活介護への訪問について】

- 59) 認知症対応型グループホームへの訪問を行っていますか。その人数を教えてください。(いずれもない場合は、「0」を記載)(複数回答)
- a. 認知症対応型グループホームとの契約により健康相談を行っているユニット数
_____ユニット
 - b. 医療保険(特別訪問看護指示書の発行・厚生労働大臣が定める疾病等の人)の訪問看護を行っている利用者数: _____(人)
 - c. その他: _____(人)

【訪問看護の質向上のための取り組みについて】(令和7年1年間)

- 60) 事業所の質向上のための取り組みとして、自己評価を実施した回数を教えてください。
: _____(回)
- 61) 事業所の自己評価はどのような指標を使用しましたか。
- a 「事業所自己評価のガイドライン」(全国訪問看護事業協会)
 - b 「訪問看護サービス質評価のためのガイド」(日本訪問看護財団)
 - c 自治体・行政が作成した自己チェック表等
 - d 事業所・法人が作成した物
 - e その他()
- 62) 令和7年度に、第三者評価を受けましたか
- a 受けた
 - b 受けていない
- 63) 第三者評価を「受けた」を選択した場合、受審した評価機関名を教えてください。
: _____
- 64) 全国訪問看護事業協会で作成している『訪問看護ステーションにおける事業所自己評価のガイドライン』をご存じですか。
- a. 知っている
 - b. 知らない
 - c. 知っており利用したことがある(冊子・自己評価Webシステムに限らない)
 - d. 知っており利用して定期的に自己評価を行っている(冊子・自己評価Webシステムに限らない)
- 65) 全国訪問看護事業協会の『自己評価Webシステム』をご存じですか。
- a. 知っている
 - b. 知らない

